

篠井地区 下小池第五自治会

「年齢などを越えた交流と親睦を図る」

●加入世帯数：213世帯

●加入率：98.6%

活動内容

下小池第五自治会は、宇都宮市の分譲で平成9年11月より入居が進み、設立されました。現在は新型コロナの影響で、活動を自粛していますが、自治会長や役員（話し合いによる輪番制）を中心に、子ども会を組織して子どもだけではなく、親同士の親睦や、「サロン」を開催し、年齢などを越えた交流と親睦を図っています。更に「バーベキュー大会」を開催し、地域内の交流を図っており、自治会内の緑化推進のため、緑化推進規約を定め推進委員を選出し、環境の美化に取り組んだり、防犯パトロールにも力を入れて、安心で安全な街の構築に努めています。

<子ども会>

小学生を中心に、公民館の庭にある花壇に花を植え、その管理を行い、その成果と出来栄を評価され、何度も市から表彰されています。



<サロン>

月1度、飲み物・食べ物を各自が持ち寄り、下は幼稚園児や小学生から、上は動ける高齢者（年齢制限なし）が一堂に会して、親睦と交流を図っています。



<バーベキュー>

年に一度、自治会で用意したバーベキューセットを使い、サロンの予算で自治会の住人だけではなく、自治会未加入者や、来ている友人親戚をはじめ、地域に来ているセールスマンや業者も交えて、親睦を深めています。



＜地域パトロール＞

下小池第五自治会では、過去に、タイヤ泥棒や不審者が出没したため、防犯カメラの設置と「地域パトロール中」の腕章を作り、散歩している人に付けてもらうことにより、それ以降、泥棒や不審者は出没しなくなりました。



加入率を維持する秘訣

宇都宮市の方針により、平成 22～23 年頃から、篠井ニュータウンに入居するには、自治会に加入することを必須条件で、土地が分譲されるようになり、新しく入ってくる方は、自治会加入が当たり前のようになっています。以前自治会に加入していなかった方も、子ども会活動・バーベキュー・サロン活動などの参加を呼びかけるなど、様々な取り組みを通して、加入を申し込んできた方もいます。

現在はコロナ禍のため、活動を自粛していますが、コロナが収束したら、すぐに活動を再開しようと役員で話し合いを重ねています。